



2026年3月5日

各 位

会 社 名 株式会社孫の手
(コード番号 514A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 浦野 幸子
問合せ先 取締役管理本部長 齋藤 陽太
T E L 0277-46-7010
U R L <https://magonote-inc.jp/>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日2026年3月5日に東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場いたしました。今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2026年3月期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)における当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

記

(単位：千円、%)

項目	決算期	2026年3月期(予想)			2025年3月期(実績)	
			構成比	対前期増減率		構成比
売 上 高		2,618,846	100.0	9.6	2,390,184	100.0
営 業 利 益		152,074	5.8	90.8	79,721	3.3
経 常 利 益		148,958	5.7	76.2	84,541	3.5
当 期 純 利 益		110,270	4.2	98.4	55,575	2.3
1株当たり当期純利益		110.27円			55.58円	
1株当たり配当金		—			—	

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数(2026年3月期については予定)で算出しております。

【2026年3月期業績予想の前提条件】

1. 当社全体の見通し

当事業年度におけるわが国経済は、円安の影響による資材・エネルギー価格の高騰やインフレの長期化が懸念され、先行き不透明な状況が継続しております。介護業界においては、高齢化の進行に伴い80歳以上人口が増加したことから介護需要が高まっております。また、2024年度介護報酬改定は全体としてプラス改定となった一方、BCP策定の義務化等、事業者として対応すべき事項も増加しております。加えて、介護人材不足は依然として深刻であり、賃金改善に加え、ICTの活用による業務負担の軽減や職場環境の改善が喫緊の課題となっております。

このような状況のもと、当社は「人生楽しむべし」を経営の基本理念として、当社と関わるすべての人が生きることを楽しみと思える社会づくりを目指してまいります。

なお、以下に記載する業績予想につきましては、2025年4月から2026年1月までの実績値及び2026年2月から3月までの予想値を使用して算出しております。

2. 業績予想の前提条件

(1) 売上高

当社の売上高は、介護保険法に基づく在宅系事業（通所介護、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援）、施設系事業（短期入所生活介護）及び介護保険外事業（サービス付き高齢者向け住宅、健康増進事業、生活支援事業）で構成されております。

売上高は、介護保険サービスの提供に伴う介護報酬等を中心に、各事業拠点の稼働率見通し等を勘案して算定しております。

これらの結果、売上高は2,618,846千円（前期比9.6%増）を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

売上原価は、主として事業所職員の労務費及び施設運営に係る経費（減価償却費、給食費、賃借料、水道光熱費等）により構成されております。

2026年3月期においては、職員の処遇改善及びICTの活用による業務効率化を進めつつ、安定したサービス提供体制の構築とサービス品質の向上に取り組むことを前提としております。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、主に管理部門の人件費、地代家賃、支払報酬、減価償却費等の固定費に加え、上場関連費用等を考慮して算定しております。

これらの結果、営業利益は152,074千円（前期比90.8%増）を見込んでおります。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外収益は、主として助成金収入等を見込んでおります。

営業外費用は、主として支払利息等を見込んでおります。

これらの結果、経常利益は148,958千円（前期比76.2%増）を見込んでおります。

(5) 特別損益、当期純利益

特別利益は、固定資産売却益を見込んでおります。

特別損失は、固定資産除却損を見込んでおります。

当期純利益は、法人税等を考慮して 110,270 千円（前期比 98.4%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等の様々な要因によって異なる場合があります。

以 上



2026年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年3月5日

上場会社名 株式会社孫の手 上場取引所 東
コード番号 514A URL <https://magonote-inc.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)浦野 幸子
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)齋藤 陽太 (TEL) 0277(46)7010
中間発行情報提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第中間期の業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,302	-	111	-	118	-	81	-
2025年3月期中間期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	81.16	-
2025年3月期中間期	-	-

- (注) 1. 当社は2025年3月期中間期においては、中間財務諸表を作成していないため、2025年3月期中間期の数値及び2026年3月期中間期の対前中間期増減率を記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株あたり中間純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	3,410	366	10.7
2025年3月期	3,351	284	8.5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 366百万円 2025年3月期 284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	0.00	0.00	0.00
2026年3月期	0.00		
2026年3月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,618	9.6	152	90.8	148	76.2	110	98.4	110.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	1,000,000株	2025年3月期	1,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	一株	2025年3月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	1,000,000株	2025年3月期中間期	1,000,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間の国内経済は、底堅い個人消費やインバウンド需要の回復に支えられ緩やかな持ち直しが続いた一方、原材料・エネルギー価格の上昇、人手不足、為替変動や海外情勢の不確実性により、先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する介護業界においては、令和7年版高齢社会白書が示す65歳以上人口比率29.3%という過去最高水準を背景に需要は底堅く推移する一方、人材の確保・育成と生産性向上が引き続き重要な経営課題となっています。

当社は「人生楽しむべし」を基本理念に、既存施設の稼働率向上と計画的な採用・定着に取り組むとともに、中期経営計画に基づく新規拠点の開設準備を進めました。

その結果、当中間会計期間の業績は、売上高1,302,145千円、営業利益111,367千円、経常利益118,362千円、中間純利益81,156千円となりました。採用関係費や光熱費・燃料費等が増加する一方、稼働率向上に伴う売上高の増加及び助成金収入等によって経常利益を確保しました。

なお、当社は介護サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(流動資産)

当中間期会計期間末における流動資産は940,166千円(前年度末比5,558千円減)となりました。これは主に現金及び預金が40,022千円減少し、売掛金が19,874千円、前払費用が15,893千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当中間期会計期間末における固定資産は2,470,388千円(前年度末比64,130千円増)となりました。これは主に新規開所に伴い建設仮勘定が124,250千円、車両や複合機等のリース資産が8,950千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当中間期会計期間末における流動負債は、516,399千円(前年度末比57,816千円増)となりました。これは主に、新規開所に伴うつなぎ融資である短期借入金が40,000千円、未払法人税等が21,395千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当中間期会計期間末における固定負債は、2,528,077千円(前年度末比80,401千円減)となりました。これは主に長期借入金が87,126千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間期会計期間末における純資産は、366,077千円(前年度末比81,156千円増)となりました。これは中間純利益81,156千円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

このような環境の中、2026年3月期の業績見通しにつきましては、売上高2,618,846千円(前年同期比9.6%増)、営業利益152,074千円(前年同期比90.8%増)、経常利益148,958千円(前年同期比76.2%増)、当期純利益110,270千円(前年同期比98.4%増)を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	524,057	484,035
売掛金	404,635	424,509
原材料及び貯蔵品	5,975	4,888
前払費用	10,038	25,931
未収入金	845	717
その他	173	82
流動資産合計	945,724	940,166
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,579,566	1,523,771
構築物（純額）	174,746	166,823
車両運搬具（純額）	5,265	3,840
工具、器具及び備品（純額）	42,131	34,747
土地	218,360	218,360
リース資産（純額）	234,294	244,666
建設仮勘定	5,425	129,675
有形固定資産合計	2,259,790	2,321,885
無形固定資産		
借地権	4,277	4,277
商標権	1,562	1,654
ソフトウェア	1,596	455
リース資産	10,698	9,276
その他	27	27
無形固定資産合計	18,161	15,691
投資その他の資産		
差入保証金	71,750	74,750
出資金	110	110
保険積立金	54,241	55,935
長期前払費用	1,925	1,765
その他	277	251
投資その他の資産合計	128,305	132,812
固定資産合計	2,406,257	2,470,388
資産合計	3,351,982	3,410,554

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,376	18,274
短期借入金	—	40,000
1年内返済予定の長期借入金	178,388	174,252
リース債務	69,672	70,438
未払金	41,969	45,724
未払費用	58,637	57,260
未払法人税等	18,004	39,400
前受金	275	278
預り金	6,852	7,868
賞与引当金	66,770	61,476
その他	1,636	1,424
流動負債合計	458,583	516,399
固定負債		
長期借入金	2,126,712	2,039,586
リース債務	176,552	182,072
繰延税金負債	8,432	8,432
退職給付引当金	39,783	40,684
役員退職慰労引当金	186,663	186,663
資産除去債務	64,935	65,289
その他	5,400	5,350
固定負債合計	2,608,478	2,528,077
負債合計	3,067,061	3,044,477
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金		
その他利益剰余金	274,920	356,077
特別償却準備金	58,447	52,548
繰越利益剰余金	216,472	303,529
利益剰余金合計	274,920	356,077
株主資本合計	284,920	366,077
純資産合計	284,920	366,077
負債純資産合計	3,351,982	3,410,554

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,302,145
売上原価	1,037,431
売上総利益	264,713
販売費及び一般管理費	153,346
営業利益	111,367
営業外収益	
受取利息及び配当金	824
助成金収入	10,080
賃借料収入	1,650
売電収入	2,456
雑収入	946
営業外収益合計	15,957
営業外費用	
支払利息	8,693
減価償却費	251
雑損失	16
営業外費用合計	8,961
経常利益	118,362
特別利益	
固定資産売却益	3,077
特別利益合計	3,077
特別損失	
固定資産除却損	752
特別損失合計	752
税引前中間純利益	120,687
法人税等	39,530
中間純利益	81,156

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用に関しては、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。